

嘉麻市社協だより

No. 97

発行日/2014.3.1

えがお

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎 1143 番地 3 稲築住民センター内

TEL.0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX.0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

<https://www.facebook.com/kama.swc>

児童が企画した

ゆるキャラ誕生



～上山田小学校～

上小ゆるキャラ

名まえ
ふーちゃん

ゆるキャラが表す意味

ぼうしの赤いリボンは、
やるきの赤
を表しています。

上小のシンボルの山、
「小富士」の山を表し
ています。

左手に虫めがねを
持っているのは、
上山田の自然を探
している様子
を表しています。

かたからカメラをぶら下げ
ているのは、
見つけた自然を集めて、上
山田の自然図鑑作りをして
いる様子を表しています。
「ノート」もいつも持ち
ています。

おなかの山の絵は、
ふるさと山田の自然を
大切にしている気持ちを表
しています。



課題を共有し 新たな取り組みへ

昨年12月から今年の1月にかけて、稲築地区福祉推進員の皆さんが5つのブロックに分かれて、懇談会を行い、ふれあい・いきいきサロンや地域福祉部の取り組みについて情報を交換したり、福祉課題について話し合いました。

それぞれのブロックでは、「近所に空き家が増えてきている」「周囲の人と関わりを持たない人が増えてきている」「災害が起きた時、高齢者の避難はこうすればよいか不安だ」などの意見が出されました。

その中でも、人口の減少や高齢化によって、サロンや地域行事への参加者、協力者が減ってきていて、続けていくことが難しくなっ



▲ 第3ブロックでの懇談会の様子

ているということが共通の課題だとわかりました。

この課題に対して、「一部の人たちに負担が偏りすぎないように注意しないといけない」「負担がかかりすぎているのであれば、内容の変更も考えなければいけない」「若い世代の人たちが活動に参加するためには、まず地域のことに関心を持つてもらうことが必要だと思う」「などとこれからの取り組みに関する意見もたくさん出されました。

かまっぴで漬物づくりに挑戦



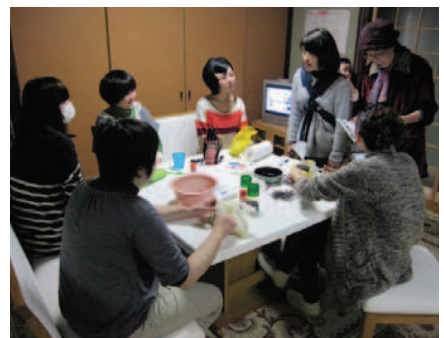
▲「そうすれば簡単にできるんだ!」と
いろんな知恵を教わるかまっぴメンバー

2月6日の子育て情報紙♥かまっぴ♥の編集作業の中で、漬物づくりに挑戦しました。教えていただいたのは、地域のふれあい・いきいきサロン等でも料理が上手と評判のお二人です。寄ってこハウスに集まった6組のメンバーは、作り方だけでなく、料理をするうえでいろいろなアイディアを教わり、「なるほど」「すごい」と驚いていました。漬物は、家によくある材料を使って簡単に出来上がり、みんなで味見をして、「美味しだね」「家でも作ろう」と盛り上がりました。

このレシピの詳細は、3月1日に発行したかまっぴ17号

の「超カンタン!」こども大スキレシピ」で紹介しています。他にも、夜泣きについてや部屋の片づけ、収納法など、子育てのいろんなアイディア満載の内容となっておりますので、ぜひ読んでみてください。市内の子育て支援センター、山田ふれあいハウス等に置いてあるほか、社協のホームページからもダウンロードできますので、ご覧ください。

また、毎回楽しくかまっぴの編集作業を行っていますので、お気軽にご参加ください。



▲みんなでレシピの確認をしました。



地域福祉権利擁護事業のご案内 住み慣れた地域で安心して生活するために、

嘉麻市社会福祉協議会では、物忘れが不安な方、障がいがある方が安心して地域で生活を送ることができるように「地域福祉権利擁護事業」を実施しています。

下記のような困りごとがある方の相談に応じますので、お気軽にご連絡ください。

記

最近、物忘れが多く、通帳やはんこをどこに置いたのかわからなくなる

毎日の暮らしに必要なお金の出し入れや毎月の支払いに自信がない

福祉サービスを利用したいが、どうすればいいかわからない

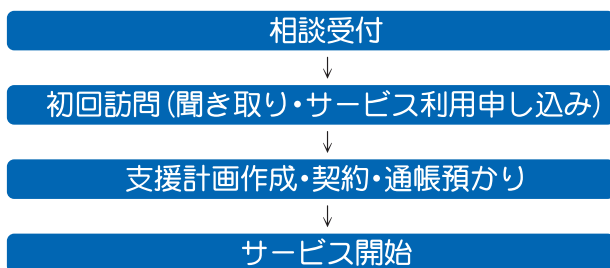
計画的にお金を使うことができない

利用できる方

日常生活における金銭管理や福祉サービスの利用等に不安があり、次のいずれかに該当する方。
(ただし、契約時または、契約更新時にその内容を理解し、利用の意思が確認できる方に限ります。)

- ・おおむね65歳以上の高齢者
- ・障がい者(身体・知的・精神)
- ・難病疾患患者

利用申し込みからサービス開始までの流れ



サービス内容と料金(生活保護受給者は無料)

【財産保管サービス】・・・年額3,000円(月250円)

大切な通帳や証書等をお預かりして、本会が契約する金融機関の貸金庫に保管します。

(お預りできるもの) 定期性預貯金通帳、有価証券、保険証書及び年金証書、実印、銀行印など

【金銭管理・生活支援サービス】・・・1回500円

* 日常的な金銭管理が難しい方に金銭に関することのお手伝いをします。

(例) 預貯金の出し入れ及び本人への現金の受け渡し

(例) 家賃、公共料金、保険料、医療費等の支払い

* 地域で自立し、安定した生活ができるように支援します。

(例) 福祉サービスの利用援助

(例) 定期訪問による見守り

* 相談料は無料です。契約後の支援から有料となります。

居場所の大切さを一緒に考える

ひきこもり家族の集い

平成26年1月の集いの中で、若者の居場所(フリースペース)の大切さについて話し合いました。「自宅以外に集う場所があったらいい」「どんな雰囲気なら過ごしやすだろうか」

平成23年4月から、毎月第4木曜日に漆生南部行政区にある寄ってこハウスで『ひきこもり家族の集い』を開催しています。現在4組の家族が、ひきこもりや不登校について感じている不安や悩みなどを話し、思いを共有する場となっています。



「これから居場所づくりについて、この集いの中で前向きに検討していこう」ということが決まりました。悩んでいるご本人やご家族の方とこのことを一緒に考えていけたらと思いますので、もしこの記事を読んだら、「参加してみたい」と話をしてみたい」と思われる方がいらしたら、ぜひ下記までご連絡ください。

寄稿 子育て親育ち③

先日、娘の進学のためのセンター試験に続き二次試験が終わった。結果はこれからだが、どのような結果にしろ、4月から一人暮らしが始まる。学生とはいえ、身の回りのことや家事も含めて自己管理し、学びを中心においた生活を自分なりに作っていくだろう。一抹の不安もないことはないが、よく育ってくれたなあと思う。これからもひとりの女性として、人として、成熟していつてくれることを願うばかりだ。

振り返ってみれば、18年はあつたという間だった。今思うのは「子育て」はこの先の未来を育むことでもあるということ。バトンを渡したあと、幸せに年を重ねて、彼らの活躍をまぶしく眺めるときがくるのだろう。(たぶん)

わたしにとっての子育ては、生まれてくるお子の生きようとす力を信頼して、その生きる力が発揮される環境をととのえ、育ちに寄り添うことだと一回目に書いた。と言っても、何を食べさせるのか、着せるのか、使う日用品から遊び道具、生活スタイル、保健医療、教育についてなど多岐に渡る。すべての選択と判断の場面で、

「あなたはどう考えますか?」と生き方や価値観を問われていると感じ、真剣に考えた。あらためて考えてみると、選択するために必要な知識も情報もろくに持っていないことも多々あつた。波風立たなくなくて周囲に流されてしまったり、身近な人たちと意見が食い違い、対立が起ることもあつた。ただ、食べ物にアレルギー反応が出るうえに、その疑いもあり、初めての予防接種でひどい副作用が出るような子だったので、1つの選択と判断に意識的になつていったと思う。

さて、環境を整えるというのは、そのような物質面だけではない。精神面にも及んだ。お子は、お腹が満たされるだけでは育たない。優しい声かけ、温かい眼差し、遊んだり、抱っこされたり、よしよしとなでられたり。もちろん、叱られたりするのだが、尊重され、穏やかで安心な関わりが必要なのだ。言うなれば、心も満たされる必要があるということ。継続的な信頼関係が育まれることが重要なのだと思う。精神面での環境を整えるとは、自分を主体とした、その子をとりまく人間関係をよりよ

く育てることなのだと思う。

2回目に、孤軍奮闘する現代の子育てママについて触れた。その中で、自分の子育てネットワークをつくってほしいと書いた。自分自身をサポートしてもらう関わりを作るという意味だけではなく、周りのよりよい関係は、お子のよりよい育ちにつながることを考えるからだ。自分にはないものを、別の大人が与えてくれる。また、等身大の自分を出せる関係があることで「わかってくれる人がいる」「なにかあつたときに助けがある」という認識になり、気持ちの余裕を生むからでもある。あなたはどう思うだろうか?

もしも、関心が湧いたら、いつからだって遅くない。率直に伝え、誠実に応答し、相手の話を耳を傾け、関係をあきらめないこと。自分のコミュニケーションのくせを自覚し、実際に練習することでコミュニケーションの仕方を変えていくことができる。コミュニケーションが変わると自分との関係も含め、少しずつ変わっていくのだ。わたしのことを言えば、振り返れば後悔も失敗もある。でも、その時100%だったと思えることが嬉

しい。お子のいる生活は愉しく、励みであり、有意義な経験の連続。つらいこともあるが、とても豊かだ。親も子も、関係の中で生き、共に育つことができることに大きな喜びと希望がある。



鶴島 夕子さん
プロフィール

東京出身。3.11をきっかけに、田川郡赤村に移住、自然に寄り添う暮らしを始める。非暴力のコミュニケーションの考え方と方法論である自己表現トレーニングとの出会いをきっかけに、心、身体、意識などの領域について学び続けており、現在は、コミュニケーションワークショップ、セルフケア、ライフキャリアなどよりよく自分を生きるためのプログラムづくりや経験的に学ぶ場をつくっている。

ヘルスカウンセリング学会
公認ソーシャルスキルトレーナー

今月のえがお

最近えがおになった出来事を教えてください!



はた えいた
畑 榮汰くん

僕はお手伝いが大好きです!自分でできることは頑張ります★ご飯をよそったり、お皿も洗えるようになったよ♪自分でできることが増えてきて、たくさん褒めてもらえるから、嬉しくてもっとお手伝いしたくなりました♪



たかき しょう
高木 翔さん

昨年入籍し、4月に結婚式を挙げます。もうすぐ2人で暮らす予定なので、準備など何かと忙しい日々を送っていますが、2人で楽しみながらやっています☆

落ち着いたら、妻と2人で旅行にでも行こうと思います!



かめだ ゆうり ゆづき
亀田 悠里ちゃん 悠月ちゃん

最近、とっても可愛い妹(悠里)が産まれました。保育所から帰ってきたら必ず『ぎゅーっ♡』してくれます!そしたら、たくさん笑ってくれるから、私も嬉しいです。

4月になったら、一緒に保育所に行こうね♡

支えあいの輪にご参加ください

地域支えあい事業 協力会員募集

地域支えあい事業とは・・・

日常生活のなかで、自分だけでは解決できないちょっとした困りごとを、協力会員として登録いただいた市民の方の協力で解決するものです。助けあいの気持ちを広げて、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりにむけて取り組んでいます。

こんな相談が寄せられています

- ・「最近、足腰が悪くて家の掃除ができなくて困っている」
- ・「昼間は家族が不在のため、話し相手になってほしい」 など



このような困りごとの解決に協力して下さる協力会員を募集しています。

この事業の趣旨を理解し、お互い様という気持ちで、活動して下さる方

※資格や特技は必要ありません。

※協力手数料をお支払いしています。

ぜひ、「できること」で、支えあいの輪にご参加ください。



活動を希望される方、関心のある方はお気軽にご連絡ください。お待ちしております。

【お問い合わせ先】

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

「読めば答えが見つかるかも」 社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

?? 問題 ??

地域福祉権利擁護事業を利用できるのは、おおむね何歳以上の高齢者でしょうか。

① 60歳 ② 65歳 ③ 70歳

● 応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、3月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

● 送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1143番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: riki@kama.sakyo.com

● 前号のクイズの答え (1)

障がい児日中一時支援事業のクリスマス会子どもたちが食べたのは、愛情たっぷりシチューでした。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・自分の住んでいる市でどのような取り組みがされているかが知れて、安心できます。
・嘉麻市のことが詳しく分かり、知らないことばかりで参考になります。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



平成26年度 ボランティア活動保険のお知らせ

センターでは、ボランティア活動中にけがをして通院したり、誤って他人のものを壊してしまったときなど、活動中の万が一の事故を補償する「ボランティア活動保険」への加入をご案内しています。

平成25年度にご加入いただいた方の補償期間は平成26年3月31日で満了となります。平成26年度の加入については3月から受け付けていますので更新手続きをお願いします。

なお、活動内容によっては、保険対象外となることがありますので、詳しくはセンターまでお問い合わせください。

補償期間

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
※4月1日以降に加入された方は、加入日の翌日から適用となります。

年間保険料

【基本タイプ】

Aプラン 300円 Bプラン 450円

【天災タイプ】

天災Aプラン 460円 天災Bプラン 690円

※「天災タイプ」は、天災（地震・噴火・津波）によるケガを補償するものです。台風などの風水害によるケガや熱中症（日射病や熱射病）は、「基本タイプ」で補償されます。

ボランティア募集

春休み期間中のボランティア

本会が実施する障がい児日中一時支援事業で、子どもたちと一緒に遊んでいただける方を募集しています。

日時 平成26年3月21日（金）

～平成26年4月5日（土）

9時～17時

※日曜日は除きます。

※ご都合の良い時間帯だけで構いません。

場所 嘉麻北日中一時支援事業所

（嘉麻市鴨生 339）

嘉麻南日中一時支援事業所

（嘉麻市上山田 502-6 山田ふれあいハウス内）

内容 障がいのある子どもたちの遊び相手、

宿題の補助など

備考 動きやすい服装や時間帯によってはお弁当、

飲み物をご準備ください。

福岡県身体障害者 体育大会のサポート

第52回福岡県身体障害者体育大会において、選手のサポートをしていただける方を募集しています。

日時 平成26年4月26日（土）

8時～16時（雨天決行）

場所 博多の森陸上競技場

クローバープラザ・アリーナ棟

活動内容 視覚及び聴覚障がいがある方の誘導、
車いすの方の補助等

募集人数 2～3名

募集締切 4月11日（金）

備考 当日は動きやすい服装でお越しください。バスでの送迎があります。また、昼食は主催者側で準備します。

「引きこもる
という情熱」



著者／芹沢俊介
出版社／雲母書房

今回紹介する本は、今年度開催した公開講座の中で、講師の山口由美子さん（不登校を考える・親の会ほっとケーキ代表）から「するどい指摘をされているので、一度読んでみてください」と紹介していただいた一冊です。引きこもるといふ現象を全面的に肯定しているところがこの本の特徴で、

引きこもりは『自分らしさ』を奪われるような危機的な体験に対して、それを守ろうととしてとった行動であることが書かれています。

また、著者は、『早く何とかしなくては』という社会側の価値観や、周囲がかかる『いい子であること』への期待の重さが、当の本人をさらに苦しめていることを指摘しています、社会へ出る準備ができていないのに無理に社会へ押し出すことに対しても否定的な意見が述べられています。

引きこもりのプロセスを温かく見守ることの大切さを感じたと同時に、『自分らしさとは何か』を私自身に問うことができた一冊でした。

（木原）

炭鉞の記憶



No.84

稲築、山田、嘉穂の境にあった共同石炭鉱業日吉鉞業所は、もっとも多い時で800人ほどの方が働いていたそうです。

今回は、坑内で仕繰（※1）や掘進（※2）、採炭（※3）などの作業に従事し、閉山後もこの地区で生活されている田中光男さんに、今も残る炭鉞の跡を案内していただきました。

才田日吉公民館裏の道を奥へと進むと、草に覆われながらもレンガの建物が見えてきました。これは油倉庫と呼ばれ、ガソリンや車輪の滑りを良くする 그리스などを保管する施設だったそうです。その隣には、今は取り壊されてしまいましたが、キャップ室があり、ここで充電されたキャップランプを受け取っていたそうです。

また、道路を挟んで反対側には、長屋が10棟以上建ち並んでいたそうで、その付近では当時



▲ 油倉庫と呼ばれていた燃料保管庫



▲ 一家に一台あった釜土



▲ 水道のない長屋では欠かせなかった水溜

使用していたと思われる釜土を見つけたことができました。田中さんの話によると、日吉炭鉞では煙が少なく、火力の強い「無煙炭」が多く採れていたそうで、坑内での作業を終えると持ち帰って、この釜土に入れて調理をしていたそうです。

この他にも、各家庭で炊事などのために使う水を溜めていた「水溜」なども見ることができました。

「炭鉞の頃のことを知る人はもう何人かしかおらん。当時の建物もどんどんなくなっていくもんね。」と寂しそうに語る田中さんは、今も残る釜土や水溜を見るたびに、当時のことを思い出しているそうです。

- ※1 仕繰…柱を立てたり、枠をはめて、坑道内を安全な状態にする作業
- ※2 掘進…坑道を掘り進める作業
- ※3 採炭…石炭を採掘する作業

炭鉞時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。

Tel 0948 (42) 0751

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり理事会を開催しました。

- 第 43 回理事会 《開催日》平成 26 年 1 月 9 日 (木)
- 【議案第 122 号】 評議員の補欠選任について
- 【議案第 123 号】 介護保険事業運営規程の一部改正について
- 【議案第 124 号】 任期満了に伴う評議員の改選について
- 【報告第 34 号】 感謝状の授与について



山田ふれあいハウス 千歳会館からのお知らせ



山田ふれあいハウスからのお知らせ

○閉館時間の変更について

平成 26 年 4 月 1 日 (火) から、平成 26 年 10 月 31 日 (金) まで、閉館時間が午後 7 時になります。

○利用料金の変更について

平成 26 年 4 月 1 日 (火) から会議室の冷暖房利用料金が下記のとおり変更となりますので、お知らせします。

記

冷暖房利用の場合

1 時間あたり 440 円 → 450 円

お問い合わせ先

山田ふれあいハウス
嘉麻市上山田 502 番地 6 TEL0948-52-1847

碓井千歳会館の 管理終了のお知らせ

本会が平成 18 年 11 月から碓井千歳会館の指定管理者として管理を行ってまいりましたが、平成 26 年 3 月 31 日をもって終了しますので、お知らせいたします。

なお、会館内に設置している子育てリユースセンターは、山田ふれあいハウス内に移転いたしますので、よろしくお祈いします。

指定葬祭場紹介

善光会館 稲築会場

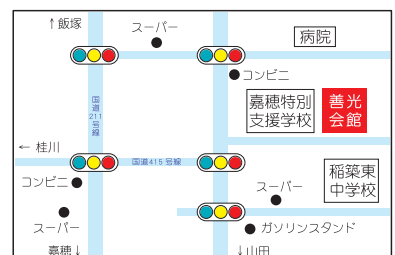
嘉麻市鴨生 277-17
☎83-5000

皆さん、こんにちは。善光会館稲築会場です。私どもは嘉麻市鴨生の地に開業以来、地域の皆さまからの暖かいご支援・ご協力をいただきながら、おかげさまで 20 周年を迎えることができました。

これまで 2,000 組を超えるご家族との出会いがあり、そのご縁の一つひとつを大切にしながら、これからも安心と信頼のあるご葬儀をお世話してまいります。

「家族葬」「終活」「事前相談」などご葬儀に関わることなら、どうぞお気軽に善光会館までおたずねください。

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、善光会館 稲築会場を含め、市内に 8 カ所あります。

おかむら葬祭 岡村会館 ☎42-4420	飛鳥会館 南斎場 ☎(0120)42-2241
きど葬祭やまさ碓井斎場 ☎62-4499	ひさつね会館 ☎52-0758
いすや会館 ☎57-4444	セレモニーホールおおつか ☎52-1212
かほ葬祭 あじさい会館 ☎62-5566	

私は稲築が、親、兄弟が
そして友達が好きです。

私は昭和24年12月3日、稲築町漆生の旧炭住に7人兄弟（生まれ時には2名は早死しており、正確には9人兄弟）の6番目に生まれました。炭住での住所は確か、福岡県嘉穂郡稲築町漆生西本条六の二です。親父は名を政市といい、無口で酒、タバコもやらず、真面目だけの炭鉱マンでした。（別に酒タバコをやっている人が不真面目ということではありません（笑。）『しくり』と呼ばれる坑内大工の様な仕事をし、たまに私を連れて、下町のお店で回転饅頭を食べるのが楽しみの人で、一生を炭鉱で終えました。

お袋は、名をシゲといい、真面目で、超のつく働き者でした。18歳で伴侶の顔も見ずに大分の耶馬溪から来て、即結婚し、90才で亡くなるまで一生稲築ですごしました。若いときから、炭鉱等で働き、確か65才くらいまで道路等の工事や建設の仕事に行き、最後まで外で働いていました。共に明治生まれです。なお、親父は、5人の子どもがいるところに婿養子に入り、その後、私と妹が生まれました。戦後の炭鉱のドタバタしていたころの話です。



千葉県
船橋市在住
月足正春さん
漆生出身

27才で千葉の方の郵便局に入りました。配達員をしておりますが、通信教育で中央大学法学部を卒業し、最後は、郵政局の課長で終えました。ちなみに、私は学校を出た時、お袋の「虎あんちゃん」のところに「け」との命令で、この兄を頼って、東京の方に就職し、3年間居候をし、あんちゃんのお所から会社に通いました。長女は名を千代子といい、10歳の時から住み込みで働き、私たち兄弟を助けてくれました。一時は福岡の芥屋で海の家をやっており、高校の時にクラス全員を連れていき、自慢したものです。美空ひばりさんと同じ年です。

その他、兄弟は、正人（次男、昨年死去）、征男（三男）、米子（次女）、信子（二女）がいます。今でもめっちゃくちや仲が良く、仕事で福岡に行くときには、ほとんど稲築の妹のところへ帰ります。東北大震災の後、『絆』という言葉をよく耳にします。私の生まれた家は、貧乏でしたが、ひもじいことは一度もありませんでした。財産はありませんでしたが、この家族を残してくれた親父、お袋に、今、心から感謝しています。また、一年に1〜2回ほどは飯塚の嘉穂劇場の横で、同級生（平小学校から）のやっている小料理屋にいけます。この年になってもわいわい騒いでいます。幸せなことだと思っております。私は生まれ育った稲築が大好きです。

コラム 交差点

【上山田小学校のゆるキャラに選ばれて】

私が描いた小富士のふーちゃんが、上山田小学校のゆるキャラになりました。ふーちゃんは、いつも学校から見えている小富士のようせいで、小富士の形をした帽子をかぶっていて、虫めがねとカメラを持っているのが持ちようです。

私は、絵を描くことがとても好きなので、ふーちゃんを描くのはとても楽しかったです。選挙で、ふーちゃんが選ばれて、すぐくびくびりました。みんなの前で名前を呼ばれて、ステージに上がるときは、とても緊張しました。恥ずかしかったけど、たくさんの中から選ばれたのでうれしかったです。友達や先生、家族のみんなから「かわいいね」といって褒められて、本当に良かったです。（4年 多田ひなた）

【ゆるキャラ総選挙を企画して】

私は、今年児童会の会長をしました。児童会のみんなと話し合っていて、上山田小学校を活気づけたいと思い、ゆるキャラを作りたいことを決めました。自由応募したら、50人から応募があり、児童会で5つ選び、それから小学校で生徒も先生も一緒に総選挙をしました。総選挙で選ばれた「ふーちゃん」の着ぐるみは、先生に手伝ってもらいながら、児童会のメンバーで2週間かけて作りました。とても大変だったけど、かわいくできたので、うれしかったです。小学校最後のいい思い出になりました。（6年 石場万尋）

★ 編集後記 ★



p3の地域福祉権利擁護事業を通じて、いろいろな困りごとを抱えている方がおられることがわかりました。住み慣れた地域で安心して暮らしたいという思いを支える一助になればと思います。話を聞いてみたいと思われる方は気軽に相談ください。（きはら）



かまっぴの編集作業の中で、ボランティアの方から漬物づくりだけでなく、料理をする上でのいろいろな工夫やアイデアを教えてくださいました。たくさんのおもしろい知恵に、思わず「へえ〜!!」と聞き入りました。やっぱり人生の大先輩のお話はとっても勉強になるなあと感じました。（みぞくち）



今回の炭鉱の記憶の取材では、才田日吉の田中光男さん、フミ子さんご夫妻にご協力いただきました。取材中、光男さんが大事に保管されていた、当時の写真を二人で見られ、昔話が花が咲いていました。お二人の仲睦まじい様子に触れ、とても温かな気持ちになりました。（たけがわ）



毎月、ボランティア募集情報を見られて、沢山の方が活動に参加されています。先日は、高校生2人が、子どもたちのもちつきサポーターとして活動されました。笑顔いっぱい「楽しかったです。また、参加します」と話してくださり、とても嬉しく感じました。（かわかみ）



日中一時支援事業を利用している男の子が、私の名前を覚えてくれました。いつもは「ねえねえ」と呼ばれていたのに、急に名前を呼ばれ、びっくりしたと同時に、嬉しくなりました。これから、まだまだ成長していく子どもたちの姿がとても楽しみです。6ページでは、一緒に遊んでいた方を募集していますので、興味のある方は一度見学に来てください。（しろがね）

編集後記を書いている本会職員の間似顔絵も募集しています。絵が得意な方、ぜひ、ご協力をお願いします。